

【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【世界国際金融センター最新ランキング：香港がシンガポールを抜き、深圳はトップ10に返り咲く】](#)

[【CEPA サービス貿易協定さらに改定 中国本土はこれらの分野で香港に再び門戸を開く】](#)

[【世界国際金融センター最新ランキング：香港がシンガポールを抜き、深圳はトップ10に返り咲く】](#)



このほど、英コンサルタントの Z/Yen グループと中国（深圳）総合発展研究院は共同で、第 36 回「グローバル金融センターインデックス（Global Financial Centers Index ; GFCI）」の調査レポート（以下「当レポート」）を公表しました。当レポートは、世界の主要な金融センターをビジネス環境、人的資本、インフラ、金融産業の発展レベル、評判などの要素から評価し、ランク付けしたものとなっています。

中国の3都市が世界の国際金融センタートップ10に入り、そのうち2都市が大湾区からで、香港はシンガポールを抜いて再び世界3位となり、深圳はトップ10に返り咲きました。世界国際金融センタートップ10はランク順に、ニューヨーク、ロンドン、香港、シンガポール、サンフランシスコ、シカゴ、ロサンゼルス、上海、深セン、フランクフルトとなっています。

表1 GFCI 36 世界国際金融センター・トップ10

金融センター	GFCI36 (今回)		GFCI35 (前回)		前回との比較	
	ランキング	得点	ランキング	得点	ランキング	得点
ニューヨーク	1	763	1	764	0	↓1
ロンドン	2	750	2	747	0	↑3
香港	3	749	4	741	↑1	↑8
シンガポール	4	747	3	742	↓1	↑5
サンフランシスコ	5	742	5	740	0	↑2
シカゴ	6	740	9	736	↑3	↑4
ロサンゼルス	7	739	8	737	↑1	↑2
上海	8	738	6	739	↓2	↓1
深圳	9	732	11	734	↑2	↓2
フランクフルト	10	730	13	732	↑3	↓2

当レポートによると、世界国際金融センターの全体の平均点は、過去2期連続上昇後、0.42%の微減となりました。ランキングでは、46都市の順位が上昇、17都市が横ばい、58都市の順位が下落となっています。

トップ金融センターにおいては、ニューヨーク、ロンドンが引き続きトップ2を占めており、香港は4期連続でシンガポールの後塵を拝していたものの、今期はシンガポールを抜いて世界第3位となり、シンガポールとの差を2ポイントまで広げ、2位のロンドンとの差は僅かの1ポイント差となっています。深圳は順位を2つ上げ、再び世界国際金融センタートップ10にランクインしました。

香港特別行政区政府スポークスマンは、当レポートは香港が世界有数の金融センターである実力を明確に示し、香港の「ビジネス環境」「人的資本」「インフラ」及び「評判と総合」の各分野における香港の競争力がいずれも高い評価を受け、「投資管理」「保険」「銀行」「専門サービス」など、数多くの金

融分野においても香港のランキングは大幅に上昇しており、その中で「投資管理」のランキングは世界1位に躍り出た、と述べています。

また同スポークスマンは、香港の資産・ウェルス・マネジメント・ビジネスが活況を呈しており、2023年末時点での管理資産規模は前年比約2%増で31兆香港ドルを超え、純資金流入額は前年比3.4倍以上の約3,900億香港ドルに迫っている、と指摘しました。香港のファミリーオフィス事業は引き続き順調に発展しており、「新資本投資参加者スキーム(NCEIS)」は3月の開始以来好評で、これまでに550件以上の申請を受理し、香港に165億香港ドル以上の投資がもたらされると予想されています。

地域別に見た場合、金融センタートップ15のうち、得点を伸ばしたのは香港とシンガポールのみ、また、当期指数を見た場合、香港と中国本土の12金融センターのうち、2都市のみがポイント上昇しています。ランキングを見た場合、香港が1つ、深圳が2つ、成都が4つ、武漢が9つ順位を上げましたが、青島は横ばい、その他都市はすべて順位が下がっています。

表2 GFCI 36 中国本土金融センターランキング

金融センター	中国本土	GFCI36		前回との比較	
		ランキング	得点	ランキング	得点
上海	1	6	739	↓2	↓1
深圳	2	9	732	↑2	↓2
北京	3	18	721	↓3	↓9
青島	4	31	708	0	↓5
広州	5	34	705	↓5	↓10
成都	6	39	700	↑4	↓1
大連	7	65	674	↓6	↓11
杭州	8	72	667	↓1	↓6
南京	9	77	662	↓14	↓19
天津	10	78	661	↓13	↓18
武漢	11	82	657	↑9	↑4
西安	12	94	645	↑9	↑37

項目別ランキングでは、香港、上海、深圳は、ビジネス環境、人的資本、インフラ、金融業界の発展レベル、評判の 5 つの分野において、世界のトップ 15 を維持しています。

GFCI はまた、フィンテック分野での実績に基づき、116 の金融センターのフィンテック発展レベルを評価しました。その結果、上位 20 の金融センターのうち、中国と米国がそれぞれ 6 つを占めています。そのうち、ニューヨークが世界 1 位、サンフランシスコは世界 4 位、ワシントン D.C.、ロサンゼルス、シカゴが世界フィンテック・ランキングのトップ 10 に入りました。深圳は前期比で順位を一つ上げ、ニューヨーク、ロンドンに次いで世界第 3 位となりました。香港は前期比で順位を 5 つ上げ、世界第 9 位となりました。

表 3 フィンテック・トップ 10 GFCI36 金融センター

金融センター	GFCI36 (今回)		GFCI35 (前回)		前回との比較	
	フィンテック ランキング	フィンテック 得点	フィンテック ランキング	フィンテック 得点	ランキン グ	得点
ニューヨーク	1	737	1	739	0	↓2
ロンドン	2	725	2	730	0	↓5
深圳	3	722	4	728	↑1	↓6
サンフランシスコ	4	721	3	729	↓1	↓8
ワシントンDC	5	720	5	723	0	↓3
ロサンゼルス	6	719	6	721	0	↓2
シカゴ	7	718	9	716	↑2	↑2
シンガポール	8	717	7	720	↓1	↓3
香港	9	716	14	707	↑5	↑9
ソウル	10	707	10	715	0	↓8

【CEPA サービス貿易協定さらに改定 中国本土はこれらの分野で香港に再び門戸を開く】



10月9日、商務部国際貿易交渉副代表である李詠箴氏と香港特別行政区財政司司長である陳茂波氏は、香港で「中国本土と香港経済・貿易関係緊密化の取り決め」（CEPA）サービス貿易協定の改定に関する第二協定（以下「第二協定」）へ共同署名しました。第二協定は署名日より発効し、2025年3月1日に正式実施となります。香港特別行政区行政長官ジョン・リー氏と中央政府駐香港連絡事務所の副主任、尹宗華氏が立ち会いました。

中国本土と香港は2015年11月、CEPAの枠組みの下、サービス貿易協定に署名し、両地間のサービス貿易自由化を基本的にも実現しました。今回の改定は、中国共産党第20回全国代表大会と中国共産党第20期中央委員会第2回、第3回全体会議の精神を実行するための重要な取り組みであり、香港が中国本土の対外開放においてより良い役割を果たすためのメカニズムを改善するものとなっています。この改定はまた、2019年における最初の改定に続く「CEPA サービス貿易協定」に対する再改定であり、両地間の経済貿易交流と協力をさらに深め、香港の経済成長と発展を目指すために強力な支援を提供し、香港の「社会

の安定からの繁栄」（中国語で「由治及興」）による発展、国家発展全体の情勢へのより良い統合を支援します。

今回の改定では、香港の経済・社会発展のニーズと業界の要望に応じ、金融、通信、建築、観光などの分野において、香港のサービス提供者の参入障壁をさらに引き下げ、あるいは撤廃することで、中国本土での雇用や業務を促進します。一部の自由化措置は大湾区において先行実施され、大湾区におけるメカニズムの統合と規制のコンバージェンスをさらに促進します。

新しい協定では、香港投資家への円滑化措置として、大湾区のパイロット都市に登録された香港企業等を支援する「香港企業への香港法適用」と「香港企業への香港仲裁適用」が新たに追加されました。サービス貿易に関するルールの透明性、予測可能性、効率性を確保し、国際的な高水準の経済・貿易ルールに統合させるために、「ローカルルール」に関する新たなコミットメントを追加し、企業がマーケットにおいてサービスを提供する際の煩雑なルールを徹廃し、企業の貿易コストを引き下げること等により、サービス貿易を促進します。ほとんどのサービス分野において、香港のサービス提供業者が香港で3年間の実質的な事業活動を行わないといけないという年数規制を撤廃し、香港の新興企業がより早い段階で優遇措置を享受できるようにし、中国本土マーケットを開拓するために香港を拠点とする世界中の企業や人材をひきつけます。

今年にはCEPA調印から21周年にあたります。CEPAの実施以来、中国本土と香港は、貨物貿易分野において完全に自由化を実現し、サービス貿易分野において基本的に自由化を実現できたとされています。現在、サービス貿易分野において、中国本土はサービス産業の153分野に対して香港に開放しており、世界貿易組織（WTO）のサービス貿易分野160のうち96%を占めており、香港の専門サービス業の発展を促進するとともに、香港の専門家の中国本土における雇用や開業において協力的なサポートとなっています。

CEPAの枠組みの下で、広東省は香港・マカオへのサービス産業の開放を継続的に拡大し、広東省・香港・マカオ間のヒト、モノ、カネ、データなどの資源

要素の効率的で自由な流れを促進し、大湾区サービス貿易の一体化レベルとサービス能力を絶えず向上させていきます。

また、深圳税関の統計によると、今年5月末現在、CEPAのもとで累計375億6,000万人民元の貨物が深圳経由で輸入され、32億9,000万人民元の関税が引き下げられました。深圳経由の輸入貨物の年間優遇貨物価値は、2004年の2億6,000万人民元から2023年の28億8,000万人民元まで増加し、11倍の大幅増加となりました。

【参考資料】

- ・ [世界国際金融センター最新ランキング：香港がシンガポールを抜き、深圳はトップ10に返り咲く](#)
- ・ [CEPA サービス貿易協定さらに改定 中国本土はこれらの分野で香港に再び門戸を開く](#)

青葉【WeChat公式】のフォローをご希望の方は、
右記のQRコードから登録をよろしくお願いいたします。
(WeChatアプリにて、QRコードをスキャンしてください。)

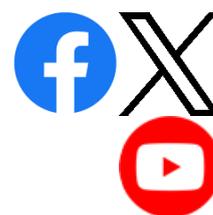
[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報もWeChatの公式アカウントに掲載しています。



=====
[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNSでも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当:

香港：新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

広州：Monica Tian/田 倩 <monica.tian@aoba.com.hk>

北京：Susan Zhao/趙 素艷 <susan.zhao@aoba.com.hk>